

夜、新大宮駅前にムクドリがいるのはなぜか。

目的

2学期に入り、新大宮駅付近に多数のムクドリが飛ぶようになり、駅前の電線にとまっている姿をよく見るようになったが、ムクドリがあんなにもたくさん集まるのはなぜかを調べる。

F9 2班

楠田梨々香

山本聖

仮説

- ・近くにムクドリの巣があるのではないか。
- ・餌を食べに来ているのではないか。

～方法～

- ① ムクドリについて、性質や特徴、原因を調べる。
- ② 過去に行われてきたムクドリへの対策を調べる。
- ③ 奈良高校の一年生を対象としたアンケートを実施する。
- ④ 自分たちで、新たな対策を考える。

～過去に県や市が行ってきたムクドリ対策～

1997年からムクドリへの対策が開始された。

- ・天敵ハヤブサの鳴き声をスピーカーで流す
- ・天敵の「ミミズク型 鳥害防止具」(右図)
- ・「くるくるパー」
→ムクドリが電線にとまると器具が回ってとまれない
- ・超音波
- ・街路樹選定



ムクドリ



生態

- ・巣は樹洞や建物の隙間にあるが、駅前のロータリーや街路樹を巣にすることもある。
- ・農耕地、公園、草地でよくみられる
- ・繁殖後は群れをなし、数万羽になることも。
- ・野鳥なので保護対象となり、駆除はできない。

ムクドリが集まる原因とは

ムクドリの生態、また県や市の対策に“天敵”関連のものが多いことから、ムクドリが新大宮駅前に集まる原因は、ムクドリの天敵がないからだと考えられます。

また、仮説「ムクドリの巣が近くにあるのではないか」は、昔は田畑の近くに巣を作っていたようですが、都市化が進んだために建物の隙間に巣を作るようになったのであながち間違いではありませんでした。

《考察および対策》

ムクドリの生態とアンケート結果をもとに、私たちは対策を考えました。

①カバーをつける。

ムクドリはキラキラしたものを嫌がる傾向にあるらしく、屋根の外側をキラキラさせ、さらに駅などでよくみるハト避けのトゲトゲがついたカバーを電線に被せれば、ムクドリは止まれなくなるのではないのでしょうか。

②柑橘系の街路樹を植える

ムクドリは柑橘系の匂いが嫌いらしいので、街路樹にすれば、その匂いでムクドリのフンの悪臭を緩和させられると思います。また、それによってムクドリが集まらなくなる可能性もあると思います。

③電線の地中化

県や市がムクドリの対策を行っていますが、慣れたりしてしまって解決に至らなかったようです。そこで、ムクドリがとまる電線自体を地中に埋めてしまっ、根本的に解決してしまおうという案です。

まとめ

この研究を通して、

- ・ムクドリは天敵がいらないため、駅前に集まること
- ・多くの人がムクドリによって被害を受けていること
- ・新たな対策が必要であること

ムクドリと人間がともに住みやすい環境づくりをしていく必要があると感じました。

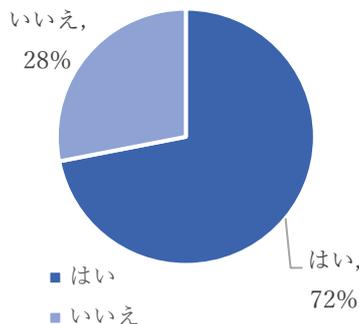
アンケート結果

下のグラフでは、アンケートの集計結果をまとめている。①で新大宮駅付近でムクドリの群れを見たことがあるか(はい/いいえ)、はいと答えた人向けに②でムクドリから被害をうけているか(はい/いいえ)、③でその被害の内訳を示している。

1での回答は、はい(72%)、いいえ(28%)。

そのはい(72%)のうち、ムクドリに困っていると回答したのが266人、つまり90%。

そして複数回答可として、鳴き声がうるさい(220人・82%)、フンが落ちてきそう(235人・88%)、景観が怖い(113人・42%)の結果が得られた。



アンケート内容

1,午後6時から午後9時、新大宮駅前でたくさんのムクドリを見たことがありますか？

2,それについて、困ったことはありますか？

3,どのようなことですか？

鳴き声がうるさい/フン/景観が怖い/その他

